

2018年4月13日
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の治安情報

リオ市ラパ地区等における抗議デモに対する注意喚起（14日午後4時以降）

14日（土）午後4時以降、マリエリ・フランコ（Marielle Franco）市議等に対する殺人事件（3月14日発生）の早期説明等を求める抗議者らがリオ市ラパ地区ラパ水道橋（Arcos da Lapa）に参集し、午後5時頃、同水道橋を出発して同市議が殺害された現場（リオ市エスタシオ地区（ESTÁCIO））まで抗議デモを行う予定です。

当該抗議デモに対し、当地治安当局は、『ブラック・ボックス』等の暴力的なグループの乱入もあり得るとの見方を示しており、警戒を強める予定です。

【当館から】

1. 明日の夕刻以降は、ラパやセントロ、エスタシオ方面への不要不急の外出を避けて下さい。
2. 万が一、同方面へ向かわれる際には、事前に交通情報等の収集に努めて下さい。治安当局との衝突や大規模な規制線が敷かれる可能性があります。
3. 抗議デモに遭遇した場合、暴徒化も予想されますので、安全な屋内に避難するか、直ぐにその場を離れて下さい。
4. 抗議デモの終了間際は特に危険な時間帯です。
デモが終了しそうだからといって、安易に近づかないようにして下さい。
5. 本件のほかにも抗議デモが発生する可能性がありますので、引き続き、デモ関連情報の収集にご留意下さい。